

集

特

日本が認めた美学の真価

大阪商業大学 特色GPに採択

November
Vol.18

楽人



contents



日本が認めた実学の真価

特集

大阪商業大学
特色GPに採択

特集インタビュー

特色GP採択を支えた「三本の柱」

その妻 古沢昌之
その夫 余野博行
その参 南方建明 助教授
授 教授

トピックス

中京女子大金メダリストが大商大訪問

「JGSS第2期プロジェクト」

「大阪商業大学リエゾン・オフィス」

一貫スタイル

大商大、17年度より新学科スタート／次年度より一部共学へ大商大堺高
大商大高「おまけ選抜展」開催／伊藤延男名誉教授、文化功労者に選ばれる

「第2回高校生ケータイフォトコンテスト」／大学院展「INVERSION2004」開催

コラム

識者の目線
「学生の街 東大阪市の治安対策」

大阪府布施警察署長 徳永幸雄氏

クオリティ・オブ・ライフ／ストレスと上手につき合なう／
人事情報・ご結婚・ご出産お祝い情報／編集後記

11

10

9

8

7

4

2



表紙の人

右:大阪商業大学 谷岡 一郎 学長 左:同大学 片山 隆男 副学長

今年度、大阪商業大学の取組み「地域や高校と連携した起業教育・起業家育成」
が文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)」に採択されました。
実学教育を発展させた谷岡学長と、この取組みを支えた片山副学長に今回の表紙
を飾っていただきました。

Gaku
jin

日本が認めた 実学の真価

GP

特色



文部科学省
**「特色ある
大学教育支援
プログラム」**

今 日の社会においては大学に対し、研究と同様に重要な機能である教育について更なる展開への期待がなされています。つまり日本の大学・短期大学は、多様かつ個性的で価値のある教育研究活動を推進するため、実質的な教育内容の改革や進化に取り組むことが求められていると言えます。

その一方で高等教育の実用性を不安視する声もあり、学生に対し適切な教育を提供するため、教育方法改善の必要性が緊急に迫られていることも事実です。
特色ある大学教育支援プログラムは、前記の背景において、高等教育機関における新たな取組みの中で、特色ある優れたものや継続的な教育努力の蓄積から着実にその成果を挙げているものを選定し、それをこれからの日本社会の財産と位置づけて今後、高等教育機関全ての活性化材料として活かすこととしたものです。

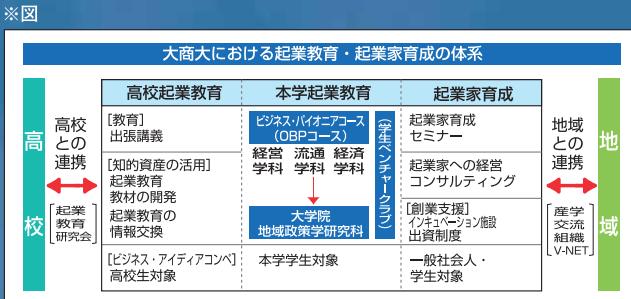
また同プログラムは継続的に行われる事が予定されており、選定に漏れたとしても改善を施された取組みは次年度以降も再申請が可能となります。
採択後は文部科学省発刊の「特色ある大学教育支援プログラム事例集」やフォーラム等で紹介され、今後の高等教育活性化のために活かされます。また採択されたプログラムをより発展充実させるために、対象となる教育機関には4年間にわたり文部科学省より補助金が交付されることになります。

■背景

大阪商業大学は「世に役立つ人物の養成」を建学の理念として、社会に役立つ人材を数多く輩出していました。

しかし、日本経済の低迷が懸念される現在、社会はベンチャースピリットを持ち、組織のリーダーとなる人材を求めていました。このように「社会的要請」に対応すべく、大阪商業大学では今日までに築き上げた実学教育の伝統を礎に、地域社会・高校との連携が不可欠との問題意識のもと、平成10年度から起業教育を取り組んでまいりました。

その特徴は※図の通り、①「本学学生への起業教育」を中心とした②「地域と本学が連携した起業家育成」



よび③「高校と本学が連携した起業教育」という3本の柱から成り立っています。

つまり今回の採択はこの「3本の柱」を軸とした取組みの真価が評価された結果であります。さらに今後本取組みのプロトランナーとして他大学に与える影響は大きいと判断され、将来性についても期待されているものと考えられます。

■「取組み」がもたらす
教育上の効果

大阪商業大学における「本学学生への起業教育」については、地域に公開された講義科目である「地域社会と中小企業」や「地域産業振興論」に加えて平成14年度に「大阪商業大学ビジネス・バイオニアコース」(LOBPコース)を設置したことにより、学生はより体系的な知識、スキル・マインドを修得する機会が得られるようになりました。また、起業教育の成果発表の場として実施している「大商大ビジネス・アイデアコンテスト」においては、学生の主体的な参画と、教員によるアイデア発想や企画力・プレゼンテーション技法に関するきめ細かな指導の結果、平成16年度は549件の応募があり、全学的なレベルにおいて理論と実践が融合した能力の向上や起業家精神の高揚が認められています。さらに、平成16年2月には「大商大アントレラボ」に入居中の本学大学院修了者が、教員による経営指導を経て「大阪商業大

大商大の採択概要

学ベンチャー投資制度

の第一号の事例として創業に成功しています。

その創業された会社には学生ベンチャークラブの代表（在学中から同社の事業プラン構築に参画）が卒業後入社し、起業教育の成果がベンチャー企業の設立という形で結実した事象であると言えます。

『地域と連携した起業家育成』

に関する「起業家育成セミナー」や「大商大ユービジネス・アイディアコンペ」の実施、「大商大アントレラボ」の開設などを通して、主に地域の社会人を対象に起業家に必要な知識やノウハウを教育することも、ソフト・ハード両面からのサポート体制を整えています。既に「大商大アントレラボ」からは3名の創業者を輩出しています。これらの取り組みは、大阪経済の低迷が長引き起業活動に対する期待が高まる中、地域経済活性化の「翼」を担っているものと自負しています。

『高校と連携した起業教育』では、高校教員と本学教員の協働による成果として「起業教育ワークブック」が作成され、高校の教育現場において既に試行的に使用される段階に至っています。また、「大商大ビジネスアイディア甲子園」では、平成16年度は2,398作品の応募が寄せられるなど、高校教育における起業家精神の発揚と実践の

場として期待が高まっていることがうがえます。更に大阪商業大学教員による高校への出張講義も毎年20回以上におよび、高大連携を通じた起業教育の拡大に貢献しています。

■将来展望

今後、「本学学生への起業教育」では、履修希望者の増加に対応する形で「大阪商業大学ビジネス・ハイオニアコース」(LOBPコース)の定員増が検討されています。具体的には、少人数教育を維持した上で「起業家クラス」と「起業支援者クラス」の2クラス制にする案があります。また、LOBPコースでの教育方法の開発成果をFD活動（大学教職員の能力を組織的・自発的に高めていく活動）と有機的に連動させ全学的に普及・啓発に注力することが重要であると考えられています。

※取組みの具体的な内容については、次ページ以降の南方教授・古沢助教授・桑野助教授のインタビューに掲載しています。

また、二連の起業教育・起業家育成活動が拡充していく中で、これに応する教職員の養成や増強を図ることが急務であるという認識が高まっています。



特色

Q1 今までの大商大における起業教育について具体的に教えて下さい。

本学では、平成10年度より公開講座「地域社会と中小企業」を開講、平成13年度からは同じく公開講座「地域産業振興論」をスタートさせるなど、起業教育に注力してきました。更には平成14年度より「大阪商業大学ビジネス・バイオニアコース」(OBPコース)を設置しました。本コースは、各学科からの応募が可能で、履修者は所属学科の専門領域の学修に加えて、起業および企業経営、産業にかかる科目など実践的かつ現代的な本コース独自の専門領域を学修することになります。

平成15年度からは起業教育の成果発表の場として、学内学生を対象に「大商大ビジネスアイディアコンテスト」を実施しています。書類選考及び、プレゼンテーション審査の結果、上位入賞者を起業家へのインタビューやインキュベーション施設の視察などを目的とした海外研修に派遣しています。

Q2 特色GP採択を受け、率直な感想をお願いします

まず、学外で認められたことは何よりも嬉しいことです。さらに「特色GP」採択に関する話を学生達にいたところ、皆が喜んでくれました。学生達が自身の通う大商大の存在意義を再確認し、自分達が所属するOBPコースに改めて誇りを持つてくれたのはとても嬉しかったです。

Q3 特色GP採択後の大商大起業教育の展望をお聞かせください。

今後の展望として1つ目は、大学向け起業教育教

ブックは高等学校の教育現場向けのテキストですが、今後は大学の起業教育現場で活用できる質の高い教材も開発していくと考えています。

2つ目は、海外インターナシップの展開です。これから社会へ羽ばたく大学生にとって『グローバルな視野』を持つことが必要不可欠です。

こうした中、例えば中国の中小企業での就業体験を企画し、そこで本学の学生が現地の人々と共に労働します。日本国内の生活においては体験できないことを認識できないことを体験することにより、日本や自分自身について見つめ直すきっかけを得るのです。「私は大商大の中ではそこそこ頑張っています」といつた狭い見で現状に満足して欲しくありません。

大商大起業教育の軌跡と展望

話:古沢助教授

3本の柱
その壱
特色
GP採択



特集+
プラス 1

OBPコース生が感じた大商大の起業教育



下前 正樹さん
総合経営学部 流通学科3回生 OBPコース所属
吉井 宏明さん
経済学部 経済学科3回生 OBPコース所属

下前:大商大の特色GP採択については、授業の中で先生から詳細を聞いて知りました。最初はピンと来ませんでしたが、登校するときに新聞の切り抜きが掲示されており、またホームページ等でも大きくとりあげられていたので、そこでこの特色GP採択の真意を理解しました。

私は現在大商大の学生が集ったボランティア団体『ピュアプラス』で活動しており、他大学との交流の機会が増える一方なのですが、他大学のボランティア団体から「大商大ってどんな大学?」と聞かれることが多くなりました。そんな時、特色GPに採択された内容を大商大の特色として説明します。今回の採択が大阪商業大学のカラーやセールスポイントを学生にはっきり認識させるきっかけになつたのではないかでしょうか。

吉井:私は特色GPの詳細を知りませんでした。学生にとって今回の採択は喜ばしいことだと思いますので、大々的に発表して欲しいと思います。

私たちが所属するOBPコースの活動が、今回の採択に関し重要なポジションであったと知り、最近ますますやりがいを感じています。そもそも私は大学生の期間に、できるだけビジネスに生かせる資格を取得したいと思い、このOBPコースに入りました。当然のことですが、課外活動や友人の時間等を大切にしたいと思う一方で、資格取得の勉強のために時間を割くには、自分を律するためにかなりの精神力が必要です。しかし大商大の取り組みが国に認められた事実が、その価値の高さの裏付けだと思いますので、以前よりもよりストイックな心を持つようになりました。

Q1 今日までの大商大における起業家育成について具体的に教えて下さい。

平成13年度より「起業家育成セミナー」を開講し本学教員の他地元起業家、地元金融機関や経営支援機関からも講師を招いています。さらに一般社会人・大学生を対象とした「大商大ユービジネス・アイディアコンペ」を実施しており、コンペでは東大阪商工會議所、NPO東大阪地域活性化支援機構にも後援を依頼し、審査・授賞を賜っています。また、同年7月には、本学教職員、東大阪地域の経営者等が参加する産学交流組織「V-Net」(平成16年3月末現在の会員数157名)を組織化しました。さらに、同年11月には社会科学系大学では初の試みとして、インキュベーション施設「大商大アントレ・ラボ」を開設し、入居者に対しても本学教員に加えて、V-Netメンバーである地元経営者、東大阪地域の中小企業支援センター・近畿の経営コンサルタントに依頼し、より実務的な指導もおこなっています。

平成15年度には「大阪商業大学ベンチャー投資制度」をもうけ、平成16年2月に第一号案件に出資しました。また、学生が組織する「学生ベンチャークラブ」の活動拠点を大商大アントレ・ラボ内に設置し、ラボには「V-Net」の活動拠点もあります。学生はV-Netメンバーである経営者や、創業準備の起業家と日常的に触れ合う機会があります。

Q2 特色GP採択を受け、率直な感想をお願いします。

大商大の教育現場としての継続的な努力が認められたことは非常に嬉しいことです。今後は実学として更に具体的な形にしたいと考えます。大商大は学生・社会人を問わず起業家精神を養う教育を行っています。今までの大学教育は起業教育とは接しくい世界であつたと思いますがこれからは私たち

教員自身にもベンチャースピリットは要求されていると考えます。それは企業のリーダーや、これから社会に出る学生、そして教育現場で進化を求められる我々全てに等しく価値のあるものだと思います。学生やすでにビジネスの現場で活躍する人々に負けないようにも努力し続けたいと思います。

Q3 特色GP採択後、産学連携の展望をお聞かせください。

地域や高校と連携したがなぜ必要かを改めて考えねばなりません。我々の認識として産学連携は社会的養成であるという認識です。今日まで大商大はずっとベンチャー起業家を輩出し、東大阪の経済的地位の向上の点でも貢献してきたと言えるでしょう。今日の日本経済は景気低迷が長引き、世界における相対的地位も低下しています。そんな中私達が必要なことは、日本の未来を憂えることではなく、打破するため何らかの形で「今」を変えていくことが大切であり、そのためには「も」もなく起業家精神にあふれて変革をリードできる人材が必要なのです。そのような人材の育成は企業・地域・大学それぞれが単体で行えることではありません。社会的問題であるからこそ、大学の持つ知的資産を地域に還元し、また地域企業の活力を大学教育に生かしていく、そんな連携がこれからさらに必要となります。この問題意識の中で我々は地域に働きかけ高校に働きかけ、社会的問題の解決を目指し、さらに発展的な取組みを継続します。

産学連携は大学にとって、ビジネスの生データに触れるメリットがあり、企業にとって大学の知的財産を有効利用できるメリットがあります。しかし我々は単純なギブアンドテイクの関係に收まらず、特色GP採択後も自身が組織の一員である前に社会の一員であることを認識し、産学連携のフロントランナーとして邁進します。

大商大起業家育成 (産学連携分野) の軌跡と展望

話:余野助教授

3本の柱
その式
特色
GP採択



特集+
プラス 1

産業界から見る 大商大の特色GP採択の取組み

東 一好

大商大リエゾン・オフィス 産学連携コーディネーター



かつて大学の知的財産は温存される傾向が強かったことに対し、現在はその発表の場を大学が求めているように思えます。その状況で、8月にオープンしたリエゾン・オフィスは重要な役割を担うのではないでしょうか。クリエイション・コア東大阪への入居大学は13大学中、11大学が理工系の大学であり、唯一の社会科学系の単科大学として大商大は同施設内の紅一点であり、私はその紅一点の環境に大きな可能性を感じています。それは大商大リエゾン・オフィスが、開発されたものをいかにマーケットにのせるかという企業にとって「難しい問題」を、「易しく伝える」ことができる数少ない窓口だからです。

これから今以上に大学における座学と企業の実学のバランスが経済の活性化に必要です。大商大が、ありふれた情報をインフォメーションするのではなく企業にとって必要なインテリジェンスを提供する大学であると信じています。



Q1

今までの大商大における高大連携システムについて具体的に教えて下さい。

大学だけでなく、高校の教育現場においても起業教育に注力する傾向が少しずつですが増えてきます。そんな状況下、平成14年度より大商大では高校生を対象とした「大商大ビジネスアイディア甲子園」を開始しました。初年度は597作品、平成15年度は1,296作品、平成16年度は2,398作品の応募があり、起業教育の成果発表の場として高校側から強い期待が寄せられています。

そして、「大阪商業大学ビジネス・バイオニアコース」(OBPコース)で実践している起業教育手法の提供や、起業教育に熱心に取り組んでいる高校教員相互の情報交換の場として、また高校における起業教育の教材開発を企図して、平成15年2月に「起業教育研究会」を発足させました。同研究会では本学教員と高校教員の協働による「起業教育ワークブック」を平成16年2月に作成、高校の教育現場での実践を経て平成16年度中に印刷物として刊行する予定です。

Q2

特色GP採択を受け、率直な感想をお願いします。

特色GPというのは教育における競争的な資金の獲得であり、競争率約10倍の中から我々が選ばれたことを嬉しく思います。我々の取組みに似たものが存在した場合は採択されない中で、大商大は起業教育のバイオニア的存在として文部科学省に認められました。

本学の取組みはGP事例集やフォーラムを通して他の高等教育機関に広められ、起業教育の先進的な模範となることを意味します。我々はバイオニアとして選ばれた以上はプロトランナーとして起業教育をリードし、更に発展させる責務があると考えています。4年間にわたりて交付される補助金を有効に活用して、更にこの取組みを充実させることを約束いたします。

Q3

特色GP採択後の高大連携システムの展望をお聞かせください。

当面の目標は「起業教育ワークブック」の発行及び、全国の高校への配布です。「起業教育ワークブック」は高校での起業教育現場において、「体系的なテキストが不足している」という声から作成が決まり、今年度は補助金をそのテキストの出版に当てる予定です。本テキストが普及すれば、自身のプランを全国の高校生と競い、高校生同士が情報交換できる「大商大ビジネス・アイディア甲子園」が今以上に充実したものとなり、また大商大の特色が、より多くの高校生・高校教員に浸透することででしょう。

現段階でも大商大レベルの高大連携システムは他に類を見ません。我々はこれからも本学の伝統と起業家精神に溢れる地域性を生かして高校生の起業教育の発展に寄与したいと思います。

大商大の 軌跡と展望

話:南方教授

3本の柱
その参
特色
GP採択



高大連携

特集+
プラス1

高校教員の目で見るGP採択その価値・イメージ

岡山県立岡山東商業高校 商業科 福岡 明広教諭
大阪商業大学起業教育研究会企画委員会副委員長



現在は、どの大学が良質の教育を提供しているかは非常に分かりにくく、卒業生の話も参考になるものの、偏りがあることも事実です。その状況下で特色GP採択は大学の教育内容が充実していることを意味し、「高校生を預けたい」、「保護者にも勧めたい」そんな大学である証と感じています。私は研究会に關り、大商大には明確なビジョンがあることを知りました。そしてエクステンションセンターの方々や、教員の方々の熱意を見習うべきだと感じ、一緒に起業教育のバイオニアになれるように努力したいと考えています。

高校教育において、起業教育の認知度は保護者や地域において高まっていますが、肝心の教育現場への浸透度はまだまだ低いと感じています。しかし私は「誰かが行動を起こさなければ、最初の一歩は踏み出せない」と考え、高校起業教育の次のステップのため、礎になればと思っています。

「起業教育ワークブック」がまだまだ閉ざされている高校起業教育を発展させる羅針盤となることを願い、ありがとうございました。

MEDALIST

中京女子大 金メダリストが 大商大訪問



大商大から“変装用の帽子”がプレゼントされた。
左:谷岡太郎学長
受け取るのは伊調馨選手

大商大生との交流会会場は、立ち見が出るほどの学生で埋めつくされ、胸に金メダルを掲げた両選手が姿を見せると、場内は大歓声と大きな拍手で包まれた。

大商大生とのディスカッションでは山崎教授のコーディネーターのもと、学生代表ら(運動部主将ら5名)と「プレッシャー」「イメージトレーニング」等のテーマについて討議された。さらに質問コーナーでは、「レスリングをはじめたきっかけ」を聞かれた吉田選手は「自宅に道場があり、物心ついたときには練習していました」とコメント。プレッシャー克服方法についての質問には、試合前に15分ほど寝て、水で絞ったタオルで顔・体を拭いて、心身とともに引き締めてから試合に臨む」と伊調選手。

その後、メダリストの握力テストが行われ、さらには伊調選手に腕相撲挑戦する学生や、恋人に立候補する学生が現れるなど、ホールは大いに沸いた。

記念品の授与では両選手と、監督、そして今回欠席の伊調千春選手にも、「有名になり町を歩きにくくなつたのでは」という危惧から、谷岡太郎大阪商業大学学長から帽子が、東大阪市内の山本光学(株)からサングラスがプレゼントされた。



成16年10月18日、大阪商業大学にて「アテネ五輪女子レスリング3階級メダル獲得報告会」及び「中京女子大学と大阪商業大学の姉妹校交流会」が開催された。

当口は吉田沙保里選手(55kg級金メダリスト・中京女子大4年)・伊調馨選手(63kg級金メダリスト・同大2年)・栄和人氏(同大レスリング部監督)・谷岡郁子(中京女子大学学長)が大商大を訪問。
伊調千春選手(48kg級銀メダリスト・同大3年)は都合により欠席。谷岡太郎理事長への報告及びメダル披露の後、選手一同は大阪商業大学内ユーバーシティホール「蒼天」に移動した。

平

成16年10月18日、大阪商業大学にて「アテネ五輪女子レスリング3階級メダル獲得報告会」及び「中京女子大学と大阪商業大学の姉妹校交流会」が開催された。

大商大生との交流会会場は、立ち見が出るほどの学生で埋めつくされ、胸に金メダルを掲げた両選手が姿を見せると、場内は大歓声と大きな拍手で包まれた。

大商大生とのディスカッションでは山崎教授のコーディネーターのもと、学生代表ら(運動部主将ら5名)と「プレッシャー」「イメージトレーニング」等のテーマについて討議された。さらに質問コーナーでは、「レスリングをはじめたきっかけ」を聞かれた吉田選手は「自宅に道場があり、物心ついたときには練習していました」とコメント。プレッシャー克服方法についての質問には、試合前に15分ほど寝て、水で絞ったタオルで顔・体を拭いて、心身とともに引き締めてから試合に臨む」と伊調選手。

その後、メダリストの握力テストが行われ、さらには伊調選手に腕相撲挑戦する学生や、恋人に立候補する学生が現れるなど、ホールは大いに沸いた。

記念品の授与では両選手と、監督、そして今回欠席の伊調千春選手にも、「有名になり町を歩きにくくなつたのでは」という危惧から、谷岡太郎大阪商業大学学長から帽子が、東大阪市内の山本光学(株)からサングラスがプレゼントされた。

大商大生との交流会会場は、立ち見が出るほどの学生で埋めつくされ、胸に金メダルを掲げた両選手が姿を見せると、場内は大歓声と大きな拍手で包まれた。



01. 谷岡太郎理事長にメダル獲得報告
金メダルを胸に、吉田沙保里選手(左)と伊調馨選手(右)がメダル獲得の報告を行った。銀メダリストの伊調千春選手は都合により欠席。



02. 記念品の贈呈
アテネ五輪での活躍を祝して監督・3選手に谷岡太郎理事長より記念品が贈られた。(笑顔で受け取るのは伊調馨選手)



03. 大商大生との交流
場所を「蒼天」に移し、大商大生との交流会が開催された。(左から: 谷岡郁子(中京女子大学学長)・栄和人監督・吉田沙保里選手・伊調馨選手)



04. 大商大生からの挑戦
大商大生が伊調馨選手に腕相撲の勝負を挑んだ。この後、栄監督も腕相撲に参加し、「蒼天」が急遽戦いのリングに。



05. 金メダリストの握手力は?
「握手はどれくらい?」の質問に応え、両選手とも握手力を測定を行った。結果は意外に…強さの秘訣は他にあるらしい。(握手力計測する吉田沙保里選手)



06. 盛り上がる「質問コーナー」
質問コーナーで「我先に」と手を挙げる大商大生達。立ち見もでるほど“超満員”的な会場は終始大いに沸いた。



07. 締めくくりは応援団からのエール
中京女子大の発展と、監督・選手の活躍を祈って大阪商業大学応援団がエールを送った。次回の北京五輪ではどんな感動が待っているのか。



08. 山本光学(株)からも変装グッズ
東大阪の山本光学(株)から監督・3選手にサングラスが贈呈された。(同社サングラスは、女子マラソン金メダリストの野口選手愛用品としても有名)

岩井紀子大阪商業大学教授による発表(JGSS第2期の共同研究機関である台湾中央研究院社会学研究所にて、写真右は台湾の共同研究者、Chang 氏)。

EASSのKim事務局長(韓国成均館大学)を囲んで。

谷岡大阪商業大学学長・教授(JGSS研究代表)、および岩井大阪商業大学教授(JGSS代表幹事)。

EASSメンバー(敬称略):左から Kim(韓国)、Fu(台湾)、Seok(韓国)、岩井(日本)。



JGSS

<http://jgss.daishodai.ac.jp/>

JGSS第2期 プロジェクト



月28日には財團法人日本統計協会から「平成15年度統計活動奨励賞」を受賞し、統計に関する積極的かつ先駆的な取り組みが、我が国の統計の進歩発展と改善発達に多大な成果を挙げたと認められた。

プロジェクト第2期(2004-) 2008年度についても第1期の継続として文部科学省へ同拠点の申請を行ない、2004年9月3日付けて正式に「平成16年度私立大学学術研究高度化推進事業」としての選定を受けた。現在、新しい視点からJGSS第2期プロジェクトが展開されている。

第1期では毎年1回のわりで調査を実施したが、第2期では2006年以降は実施頻度を2年に1回のペースと



し、2005年、2006年、2008年に全国規模で調査を実施する予定である。また、第2期の調査では、新たな試みとして調査票に組み込む設問の一部を公募して、調査票をさらに充実させ、活用しやすいものとする企画している。これは、プロジェクトメンバー以外の研究者にも、全国調査の企画に参加する機会を少しでも広げようという試みである。

さらば、2006年の調査では、「東アジアにおける社会調査(East Asian Social Surveys: EASS)」に関する設問シートを組み込み、JGSSの新たな可能性を広げることを計画している。このEASSプロジェクトは、欧米の研究者が中心になりがちな国際比較調査において、東アジア社会に特有な問題や関心に基づいて、共通の設問を設定し、国際比較分析を推進しようというものである。EASSプロジェクトは2003年6月に大阪商業大学において開催した「JGSS国際シンポジウム2003」を契機として立ち上がり、現在のところ、日本のJGSSプロジェクトチーム、台湾の中央研究院社会学研究所のチーム、および韓国の成均館大学Survey Research Center(SRC)のチームがEASS運営委員会を構成し、計画を進めている。中国の社会科学院も参加を検討しているが、調査の規模などについては確定していない。それぞれの研究機関が定期的に実施している調査の一環に、共通の設問を挿入する形で、データを収集することを計画しており、JGSSについては、2006年調査で2種類の留め置き調査票を用意して、そのうちの一方にEASSに対応する設問を挿入する計画である。なお、EASSについても、調査票に組み込む設問の一部をプロジェクトメンバー以外の研究者から公募する予定で、開かれたJGSSを目指している。

またJGSS第2期の構想では、若手研究者の育成を目標のひとつとしている。JGSSデータの分析結果の論文の公募、優秀論文の表彰、前述の設問の公募、ポストドクトラル研究員の募集などを通じて若手研究者に社会調査への参画の機会を提供する計画である。

研究代表: 谷岡一郎(大阪商業大学学長・教授)・仁田道夫(東京大学社会科学研究所所長・教授)・代表幹事: 岩井紀子(大阪商業大学教授)・幹事: 保田時男(大阪商業大学専任講師)・佐藤香(東京大学社会科学研究所所長・教授)・事務局長: 大澤美苗(大阪商業大学)。研究メンバーは24名(うち11名は大阪商業大学(敬称略)ab順: 木村雅文、小磯かをる、大橋正彦、林妙音、佐野茂、孫飛舟、杉田陽出、田崎公司)で、海外の共同研究機関の研究者3名も含まれている。

CREATION CORE

大商大リエゾン・オフィス

詳細<http://www.m-osaka.com/jp/facility>



■大阪商業大学リエゾン・オフィス■

大阪独自で取り組んできたベンチャー支援のノウハウやネットワークを駆使し、新規創業や第2創業を目指す人々の、資金面も含めた支援活動を展開。さらに姉妹大学の神戸芸術工科大学と連携した、新製品開発におけるデザイン面のサポートも予定しており、新しいタイプの産学連携拠点として地域経済活性化に貢献する。

クリエイション・コア東大阪に参入した大学
大阪工業大学 リエゾンセンター東大阪分室
大阪商業大学 リエゾン・オフィス
関西大学 産学連携オフィス東大阪サテライト
同志社大学 リエゾン・オフィス
龍谷大学REC
大阪産業大学 産学官連携サテライトオフィス
大阪電気通信大学 地域交流室
近畿大学 リエゾンセンター <KLC> 大阪院東大阪モノづくり専攻
NAIST(奈良先端科学技術大学院大学) 東大阪事務所
大阪大学 社会連携サテライトオフィス
大阪府立大学 産学官連携サテライト・オフィス
関西学院大学 マイスタースクール
立命館大学 リエゾン・オフィス東大阪

2

004年8月20日、東大阪を中心に関西のものづくりを多面的にサポートする機能を備えたクリエイション・コア東大阪に南館がオープンし、同施設に「大阪商業大学リエゾン・オフィス」が開設された。

「ワントップサービス」「国際情報発信機能」「インキュベート施設」の4つの機能を中心に大阪東部地域において、中小企業のイノベーションの促進を目的として、総合的な支援を行ってきた。今回の南館オープンでは近畿の13大学が産学連携の窓口であるリエゾン・オフィスを開設した。これは起業「一」と大学の持つ研究テーマや技術、経営ノウハウをマッチングさせる」とにより、技術移転や「コンサルティングを実現し、ビジネスの拡大や起業の具現化に寄与する」と意味する。



○神戸芸術工科大学賞
「ヌードな愛犬」
山村 真依子
兵庫県・夙川学院高等学校1年



○ 優秀賞
「おなかすいたよお～」
比嘉 千夏
沖縄県立興南高等学校3年



○ 優秀賞
「部室」
志野木勇太
兵庫県・神戸市立御影工業高等学校2年



○環境・建築デザイン学科賞
「～新世界へ～」
小川哲知
京都府・立命館宇治高等学校1年



○プロダクトデザイン学科賞
「甲子園の見所は…」
森岡里予
奈良県・帝塚山高等学校2年



○ファッションデザイン学科賞
「三匹詰まつてま～す(笑)」
谷 のぞみ
兵庫県立津名高等学校3年



○ビジュアルデザイン学科賞
「マッチョなMRビーン」
香山 桐貴子
兵庫県立神戸商業高等学校3年

第2回高校生 ケータイフォト コンテスト

平成16年10月17日、神戸芸術工科大学にて、「第2回高校生ケータイフォトコンテスト」の授賞式がとり行われた。昨年度からスタートした本企画は今年度も多数の応募があり(昨年度応募点数869点に対し、今年度は1,161点)、全国の高校生への高い浸透度がうかがえた。

作品名「部室」にて優秀賞を獲得した志野木勇太さん(神戸市立御影工業高等学校2年)は、「私の通う高校でも他校との統合が進んでおり、御影工業高校の校名で結果を残せたことが何より嬉しい。」とコメントした。



大学生の力作が並んだ

「INVERSION2004」開催

平成16年10月14日～10月20日、第2回神戸芸術工科大学大学院作品展「INVERSION 2004」が開催された。同大学大学院による学外での展覧会は今年で2回目。神戸市兵庫区の神戸アートビレッジセンター・1Fギャラリーにて開催された前回から、今年は兵庫県立美術館別館原田の森ギャラリーに場所を移しての展覧会となった。

修士制作として取り組んでいる作品の展示および中間発表会、さらに高木隆司特任教授による講義「芸術工学基礎論」の成果作品の展示が行われた。

NEWS FILE



大商大高校 「おまけ選抜展」開催

平成16年9月16日～9月26日、宮本順三さんの絵と大阪商業大学高等学校デザイン表現コースによる「おまけ選抜展」が開催された。宮本氏はグリコ(株)で“おもちゃデザイナー”として、約3000種ものおもちゃをデザインし、世に送り出してきた人物。今回はその宮本順三記念館樋口副館長の協力もあり、同記念館併設ギャラリーでの作品展開催に至った。同校生徒が記念館見学の際にはグリコのおまけの歴史を学び、更にはおもちゃ作り講習会も行われた。

今回の大商大高校の取組みは、大阪府の第一回「地域との連携による学び支援事業」に指定され、その様子が東大阪ケーブルテレビで放送されるなど、地域性を生かした教育制度として高い評価を受けている。

宮本順三記念館ホームページURL
<http://www.cph-p.com/omakeya>



伊藤延男(いとう のぶお)
愛知県出身
東京帝国大学卒業 工学博士
平成元年4月 神戸芸術工科大学
芸術工学部
環境デザイン学科教授
平成2年4月 神戸芸術工科大学
図書館長
平成7年3月 学校法人谷岡学園
評議員
現在、神戸芸術工科大学名誉教授

伊藤延男名誉教授、 文化功労者に選ばれる

平成16年10月29日政府発表の2004年度の文化功労者15名に伊藤延男神戸芸術工科大学名誉教授が選ばれた(“文化財保護・国際交流”的分野では初の文化功労者)。

伊藤氏は長年にわたって文化財建造物の保護に尽力するとともに、文化財保存と研究をテーマに国際交流を推進、また日本の文化財の世界遺産登録にも大きく貢献した。

功労者の顕彰式は11月4日に都内のホテルで行われた。

大商大 17年度より新学科スタート

大阪商業大学が平成17年度より新学科「総合経営学部 公共経営学科」を開設する。公共サービスの提供をマネジメントする能力を養うことが目的とされる公共経営学科では、「スポーツやレジャー・エンターテイメントの事業化」、「地域の再生・活性化」について学び、社会や地域に貢献できる多彩な公共サービスの提供・運用法などが修得できる。

さらに既存の流通学科は商学科に名称変更され、新しい発想によって新たなマーケットを創造する力を養うため、従来の流通科学関連科目に加え、「マーケティング戦略論」「国際マーケティング論」等、マーケティング関係科目の拡充が行われる。

※平成17年度大阪商業大学定員増減対象図

変更前	経済学部	経済学科	350名
	総合経営学部	経営学科	350名
	流通学科	流通学科	200名
変更後	経済学部	経済学科	350名
	総合経営学部	経営学科	300名
	商学科	商学科	200名
	公共経営学科	公共経営学科	150名



次年度より一部共学へ 「大阪商業大学堺高等学校」

昭和43年2月の学校法人清陵学園設立認可以来今日に至るまで、大阪商業大学堺高等学校は「世に役立つ人物の養成」を建学の理念とし、スポーツ面及び進学面で時代の変化に即した教育を実践してきた。そして、平成17年度より更に志望校合格と幅広い進路選択を充実させるべく2つの特進コースを設置する。(特進エキスパートコース・特進アドバンスコース)

両コースにおいては開学以来初の男女共学を実現し、男女生徒が快適な学校生活を送れるよう各施設の大幅なリニューアルを実施した。特進エキスパートコースは授業をセンター試験対応のカリキュラム編成とし、少人数制で目標に応じたきめ細かい個別対応を行い、難関大学への現役合格をめざす。特進アドバンスコースは通常授業と、国・英・数は「進学講座」で基本の確立から実践演習まで徹底指導。さらに補習授業も行い、中堅私立・女子大への現役合格をめざす。

常に有事即応態勢を整えて、「危機意識」を平時から持つことの重要性

学生の街、東大阪市の治安対策

1 はじめに

『「大学の機関誌に投稿を』という依頼を受け、期待に応えられる内容があるかどうかと迷ったが立場の違いこそあれ日本の将来を託す学生を育成される教育現場において、この拙文から治安面でいささかでもご理解いただけるなら…』そんな思いでこのコラムを書かせていただいた。

2 治安の現状

大阪府における昨年の刑法犯、つまり窃盗・暴行・傷害等の発生は約29万件で、そのうち東大阪市の占める割合は約6・2%である。大阪府の人口が約884万人、うち東大阪市在住が5・8%で、ほぼ相應の犯罪実態といえる。

学生の街であり、中小企業の集積した街、また歓楽街も併せもつたこの東大阪市の犯罪は、ひつたくり・車上あらしが多い他、空巣などの窃盗犯、さらに暴行・傷害等の粗暴犯も多い。

東大阪市は府下の犯罪実態が凝縮されたような、ありとあらゆる犯罪が発生する地域といえる。

3 学生に求め期待するもの

私は布施警察署長として、約400名の署員を指揮する立場から

- ・「天職」として、警察の仕事に誇りをもて。
- ・市民の立場になつて仕事を進めよ。
- ・やり直しのきかない人生に悔いを残すな。

4 危機意識

警察は予想できない事件・事故に適切に対応しないかなければならない。その意味で常に有事即応態勢を整え、警察官個々に「危機意識」が求められる。

この危機意識は今の時代、当然市民にも求められ、また学生にも求められていることはまちがいない。さらに学校運営にも要求されるもの

等、口すっぱく言っている。これは置き換えれば学生にも通じる部分があるのでないかと思う。

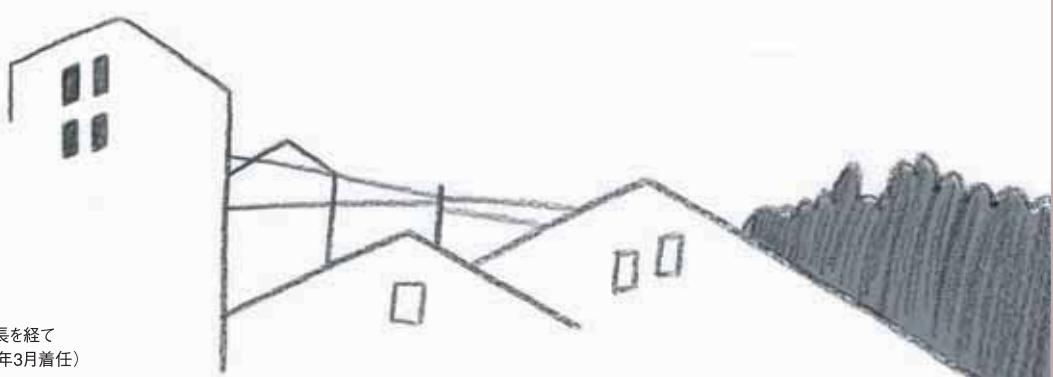
私が学生に求めるものも、彼らの御両親が子供に求めるものも、しっかりと学んで、人間性を磨き、世のため人のために役立つ人間になつて欲しいということであろう。

5 むすび

今警察では「安全・安心街づくり」に向けて、諸々の対策を推進しているところである。東大阪に住む人、働く人、また学ぶ人にも「安全」についてお願いすることは少なくない。

警察はいつまでも「消えない市民の笑顔」を求めて職務を全うしていきたい。

であると思う。



大阪府布施警察署長
徳永幸雄

宮崎県生まれ 現在57歳
前職大阪府警察保安第一課長を経て
現在、布施警察署長(平成16年3月着任)

人事情報(敬称略)

異動

東 典恵 平成16年8月1日付
大阪商業大学 企画・学事部門 エクステンションセンター事務室
(日本私立大学協会への出向を解く)

三村 香代 平成16年9月1日付(平成17年7月31日まで)
日本私立大学協会へ出向

松川 隆弘 平成16年10月1日付
神戸芸術工科大学 庶務課 主任
(神戸芸術工科大学 図書館事務室 主任の職を解く)

川内 松幸 平成16年10月1日付
法人本部 次長(総務課担当)
(法人本部 総務課長の職を解く)

大城戸 靖彦 平成16年10月1日付
法人本部 次長(人事課担当)
(法人本部 人事課長の職を解く)

退職

森田 博子 平成16年8月31日付
大阪商業大学 企画・学事部門 学事課

塙本 修志 平成16年9月30日付
神戸芸術工科大学 庶務課 主任

役職発令

小田 富也 平成16年10月15日付(任期は平成18年3月31日まで)
大阪女子短期大学 地域子育て支援研究所 所長 兼務

おめでとうございます (H16.7~10月)

結婚

7月18日 今村 泉(旧姓 宇野)
法人本部 総務課
いむら かずや
今村 一哉さん

8月27日 尊井 晴子
法人本部 財務課
やすと ひでお
安本 英雄さん

9月12日 稲葉 徹
大阪商業大学 学事課
岡崎由佳子
大阪女子短期大学事務局 教学課

出産

8月21日 山崎 敬祐
大阪商業大学 企画広報課
丸井 かほる
大阪商業大学 教務・入試課
れい
怜生くん
(教職員名敬称略)

編集後記

10月18日、アテネ五輪金メダリストに会いました。(P7掲載)。「たぶん選手達は類希なる胆力と身体を持った女性なので、近寄り難いオーラを放っているだろう」と私は予想していました。しかしそれは「手ぬぐいで頬かむりした泥棒」と同じく、作られたイメージの姿で、「両選手とも普通の女子大生でした」というのが私の感想です。

ところで、世界をひざまずかせた吉田選手の高速タップルを体験したいのです。きっと瞬く間に両足をからめられ、私の体はマットに沈み、下手すればその副産物として骨折も…それでも私に体験を夢見させたのは「バカを承知の男の美学」のせいかもしれません。選手の皆さんにおいては怪我などせず、北京五輪でもその勇姿を見せていただきたいものです。

最後になりましたが「樂人」創刊号、出来栄えはいかがでしょうか?「文調は流麗にして端正、禁句の処理も完璧で内容も厚い!」まずは景気付け自分で褒めてみました。皆様からの忌憚のないご意見・ご感想をお待ちしております。

Quality of Life

ストレスと上手につき合おう

大阪商業大学学生カウンセラー
大阪女子短期大学高等学校心理相談員
梅林 厚子(臨床心理士)

3.ストレスをどのように受けとめるか

(1) ストレスは人生のスパイス

ストレスはとかく悪者扱いされがちですが、適度のストレスは、人生に刺激と彩りを与えてくれます。

図1にあるように、最適のストレスレベルは、ほどよい緊張感と充実感をもたらし、人間を意欲的にし、よりたくましく生きる原動力をも与えます。

(2) 黄信号に気をつけて!

しかし、ストレスが強力で、過剰に加わり続けると、心身ともに過緊張となり、様々な症状があらわれてきます(図1の黄色の部分)。そして、さらにストレスがかかると、心身疾患に陥ってしまいます(図2の赤色の部分)。

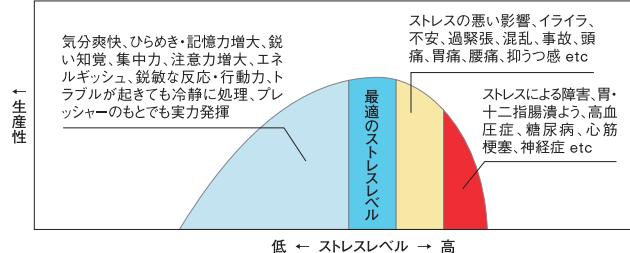
ストレスによる障害を引き起こす前に、つまり黄信号の兆候が現れ出だしたら、休養をとったり、ストレス解消(趣味やスポーツ、リラクゼーションなど)をはかりして、ストレスにブレーキをかけることが重要です。

(3) 前向きな姿勢で!

日常生活を送るうえで、ストレスは避けられないものです。その人にとって、あることがらがストレスになるかどうかは気持ちのどちら方が大きく左右します。いやいや対処するのではなく、前向きな姿勢で建設的に向き合っていくことで、ストレス耐性が強化され、これまでストレスを感じていたことが、そうでなくなることもあります。

ストレスと上手につき合いながら、ストレス社会の中で、心豊かに過ごしていきたいものです。

図1 最適のストレスレベル 「ストレスマネジメント・ワークブック(ストレスを解消する)」より



学校法人 谷岡学園

Phone:06-6781-0385

大阪商業大学・大学院
神戸芸術工科大学・大学院
大阪女子短期大学
大阪女子短期大学高等学校
大阪商業大学高等学校
大阪商業大学附属幼稚園

<http://www.daishodai.ac.jp>
<http://www.kobe-du.ac.jp>
<http://www.owjc.jp>
<http://www.osakajyosi-h.ed.jp>
<http://www.daishodai-h.ed.jp>
Phone:06-6782-1600

姉妹法人

学校法人 清陵学園

Phone:072-278-2252

大阪商業大学堺高等学校

<http://www.shodaisakai.ac.jp>

学校法人 中京女子大学

Phone:0562-46-1291

中京女子大学・大学院

<http://www.chujo-u.ac.jp>

中京女子大学短期大学部

<http://www.chujo-u.ac.jp>

中京女子大学附属高等学校

Phone:052-723-0851

中京女子大学附属幼稚園

Phone:0562-46-1294